

## 脳神経外科

### 《概要》

泉州地域における中核病院として、脳神経外科専門診療、救急対応まで幅広く機能しています。医局スタッフは平成22年4月現在、種子田護総長のもとで、森内秀祐脳神経センター長兼脳神経外科部長兼救急診療部部長、寺本佳史脳血管外科部長、小林啓作医長、出原誠医長、山田公人副医長、高垣匡寿医員の計7名で診療にあたっています。

急性期脳卒中に対していつでも緊急開頭手術、脳血管内治療が行える体制をとっており、急性脳梗塞に対する経静脈的 tPA 治療も積極的に行っております。脳腫瘍に対する手術治療数も多く、放射線治療(エックスナイフを含む)、化学療法などの総合的診療も展開しています。脊髄疾患、小児脳神経など脳神経外科全般にわたって定型的治療から先進的な専門治療まで行っています。特に機能的手術では、パーキンソン病に対する深部電極留置による刺激療法、拘縮に対する末梢神経手術、顔面・眼瞼痙攣に対するボトックス治療など行っています。

地域連携ネットワークの中で、脳卒中の手術、tPA 治療のできる急性期病院として位置づけられ、さらに専門診療の向上に努めております。新臨床研修医の必修研修課目の一部である「脳血管障害」を担当しており、教育にも力を入れています。

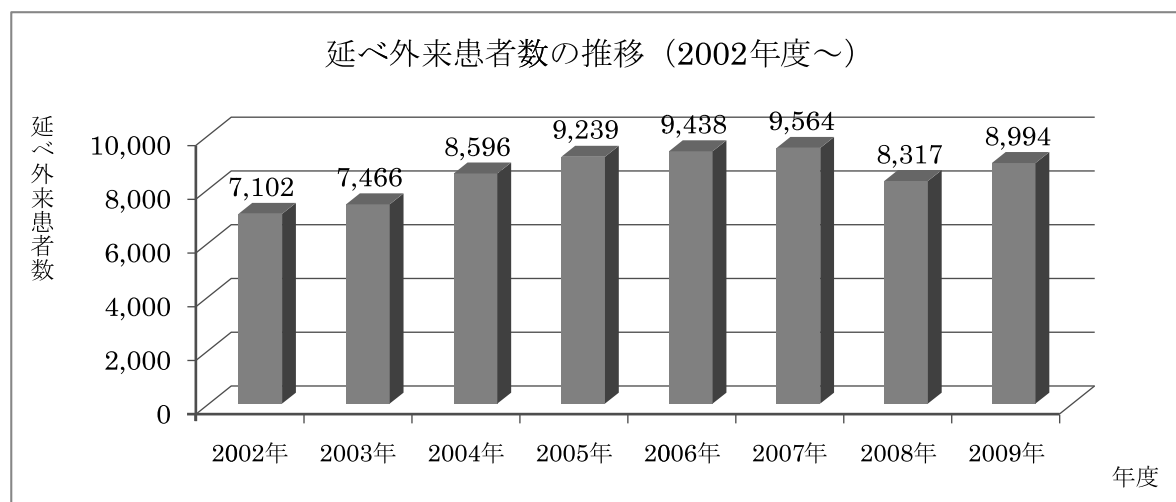
### 《実績》

#### (1) 患者内訳

1997年10月の診療科新設からの延べ外来患者数と実入院患者数は、下記の通りです。外来患者数は、同水準を保っているが紹介率は、35.64%で前年度より下降しています。2009年度の実入院患者の居住地内訳をみると、泉佐野市 30.13%、南大阪泉州地域(和泉市、泉大津市、貝塚市、岸和田市、堺市、泉南市、高石市、阪南市、泉南郡、泉北郡、河内長野市)59.13%、その他の大阪府下 7.91%、近畿圏 1.69%、その他 1.13%です。泉佐野市をはじめ泉州地域からの実入院患者数は増加しています。南大阪を中心とした広域高度先進医療施設の位置を継続しつつも、地域の病診連携、病々連携関係は充実し、地域医療にさらに貢献の度を高めています。

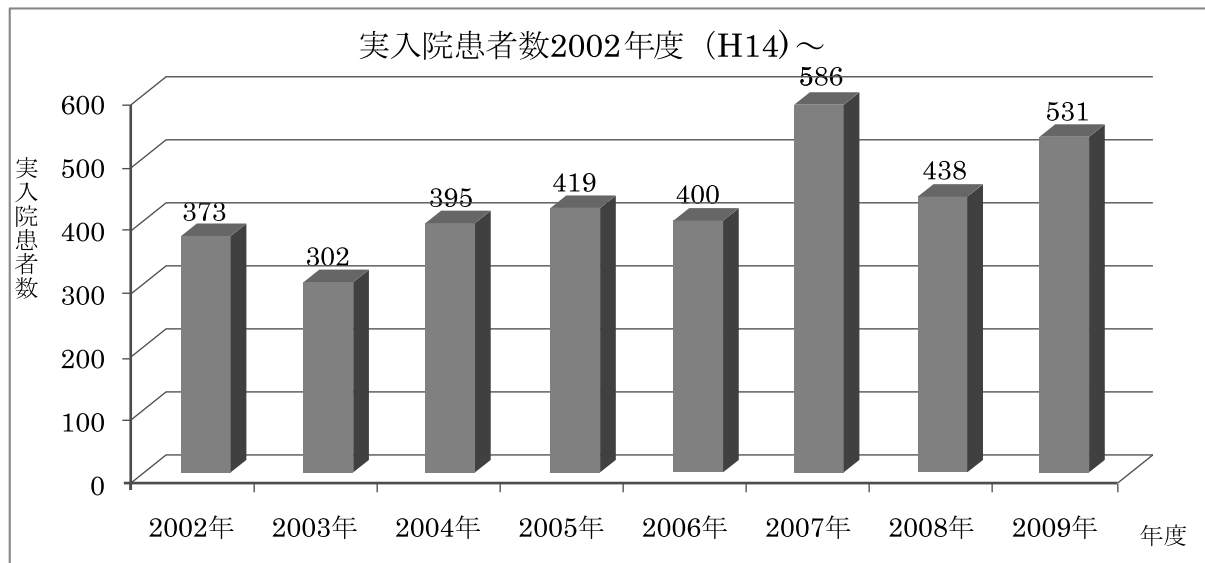
#### 延べ外来患者数の推移

2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
7,102	7,466	8,596	9,239	9,438	9,564	8,317	8,994



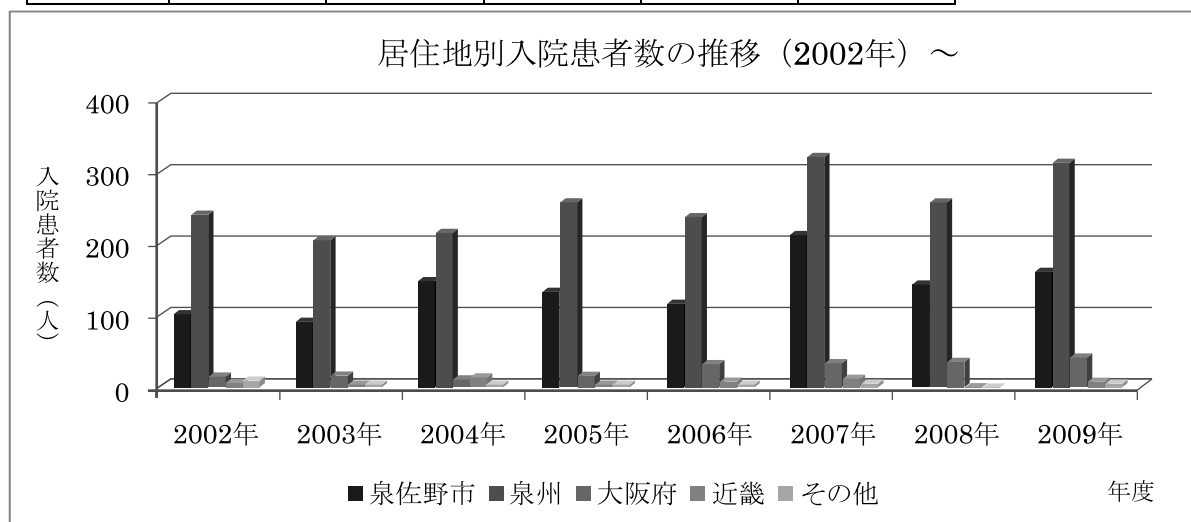
実入院患者数

2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
373	302	395	419	400	586	438	531



居住地別入院患者数の推移

	泉佐野市	泉州	大阪府	近畿	その他
2002年	102	240	15	7	9
2003年	91	204	17	6	5
2004年	150	216	10	13	6
2005年	133	259	17	6	4
2006年	117	237	33	8	5
2007年	211	322	34	13	6
2008年	144	258	36	0	0
2009年	160	314	42	9	6

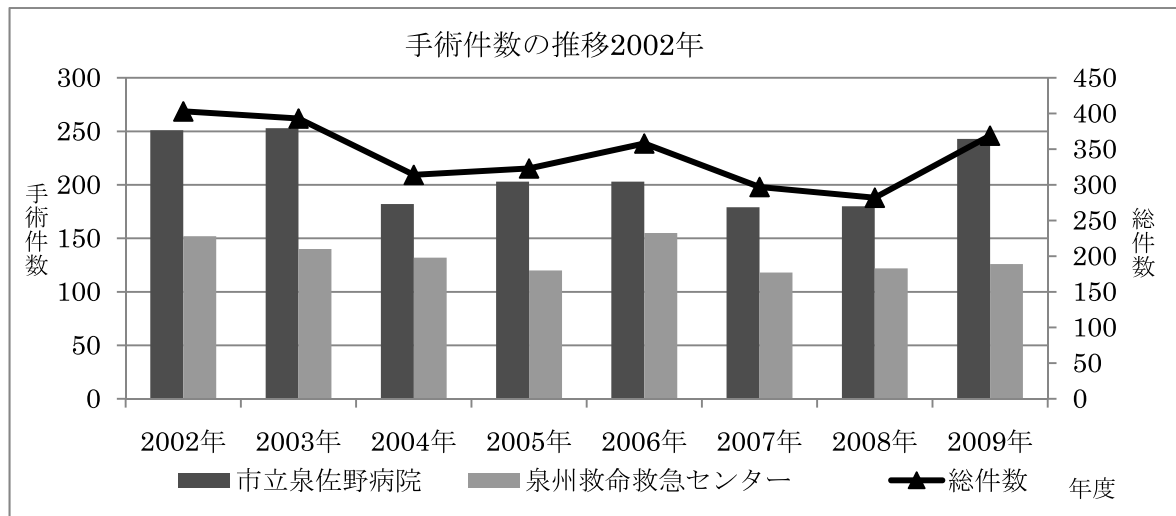


(2) 手術実績 2009. 4. 1～2010. 3. 31

市立泉佐野病院と泉州救命救急センターを併せた総手術件数は、369件であり、泉州地域の中核病院にふさわしいものである。

手術件数の推移

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
市立泉佐野病院	251	253	182	203	203	179	180	243
泉州救命救急センター	152	140	132	120	155	118	122	126
総件数	403	393	314	323	358	297	282	369



(3) その他

- ①日本脳神経外科学会専門医訓練施設 (A 項指定)
- ②日本脳卒中学会研修教育病院
- ③臓器提供施設認定
- ④パーキンソン病治療認定施設
- ⑤ボツリヌス治療許可施設

平成 20 年度 脳神経外科紹介率

月	初診患者数			6 歳未満初診② ①-②	紹介患者				紹介率
	外来	入院	計		外来	入院	救急車	計	
4 月	38	15	53		13	8	7	28	52.83%
5 月	53	11	64		19	3	8	30	46.88%
6 月	62	8	70		28	4	4	36	51.43%
7 月	57	6	63		1	21	5	27	42.86%
8 月	47	14	61		13	3	11	27	44.26%
9 月	61	11	72		18	4	7	29	40.28%
10 月	57	21	78		21	3	18	42	53.85%
11 月	47	12	59		13	1	11	25	42.37%
12 月	55	13	68		15	2	11	28	41.18%
1 月	50	9	59		14	3	6	23	38.98%
2 月	53	17	70		14	3	14	31	44.29%
3 月	64	13	77		22	3	10	35	45.45%
合計	644	150	794		191	58	112	361	45.47%

平成 21 年度 脳神経外科紹介率

月	初診患者数			6 歳未満初診② ①-②	紹介患者				紹介率
	外来	入院	計		外来	入院	救急車	計	
4 月	63	12	75		20	0	5	25	33.33%
5 月	52	17	69		17	5	3	25	36.23%
6 月	69	18	87		18	6	12	36	41.37%
7 月	71	18	89		22	4	5	31	34.83%
8 月	59	10	69		20	0	6	26	37.68%
9 月	72	21	93		21	1	7	29	31.18%
10 月	88	28	116		21	8	3	32	27.58%
11 月	84	18	102		29	2	10	41	40.19%
12 月	57	23	80		11	6	6	23	28.75%
1 月	70	22	92		27	2	6	35	38.04%
2 月	72	20	92		26	1	5	32	34.78%
3 月	81	21	102		24	6	15	45	44.11%
合計	838	228	1066		256	41	83	380	35.64%

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2009.4~2010.3)

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	第 1 部 病態と経静脈治療 V. 救命救急 2. 脳外傷	中島義和	経静脈治療オーダーマニュアル	2009 年版 第 13 版		2009
2	交叉性失語と左半側視空間無視を合併した日本語と韓国語併用者の 1 例	宗田高穂	神経内科	71 (5)	511-513	2009
3	右椎骨動脈閉塞により同側の傍正中橋網様体の障害の後、核間性眼筋麻痺が出現した 1 例	宗田高穂 高垣匡寿 山田公人 出原 誠 寺本佳史 森内秀祐 伊藤 守	脳卒中	32 巻 2 号	203-206	2010

(2) 学会研究会報告 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	小児頭蓋形成における人工骨と吸収性プレートとの併用について	福屋章悟 高垣匡寿 中島義和 出原 誠 枝川光太郎 伊藤 守 種子田護 今北正美 吉峰俊樹	第 57 日本脳神経外科学会近畿支部学術集会	2009. 4. 4
2	司会	中島義和	第 16 回大阪脳血管内治療研究会	2009. 4. 10
3	Angioguard XPを用いた頸動脈ステント留置術の初期成績—後拡張とDWIの関係—	寺本佳史 布川知史 中川修宏 木本敦史 眞田寧皓 辻 潔 藪内伴成 岩倉倫裕 加藤天美	第 8 回日本頸部脳血管治療学会	2009. 5. 29-30
4	座長	伊藤 守	第 12 回南大阪救命医療研究会	2009. 6. 27
5	座長	伊藤 守	脳神経外科地域連携会	2009. 7. 11
6	脳腫瘍治療のアップデート	森内秀祐	脳神経外科地域連携会	2009. 7. 11
7	DPC 導入に伴う ICD コーディングの精度向上への取り組み	末福美恵子 高橋利治 田中貴士 永井義幸 伊藤 守 大津淑子	第 35 回日本診療情報管理学会学術大会	2009. 9. 17
8	日本に置ける医療通訳の現状	伊藤 守	第 4 回国際医療通訳協会総会	2009. 10. 10

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
9	悪性グリオーマに対する樹状細胞療法と活性化自己リンパ球療法を用いた集学的治療:QOL改善をめざして	森内秀祐 埜中正博 尾崎友彦 馬場庸平 金村米博 明山耀久	第 68 回日本脳神経外科学会総会	2009. 10. 14
10	Meet the Mister	種子田護	第 68 回日本脳神経外科学会総会	2009. 10. 15
11	頸部内頸動脈near occlusion に対する頸動脈ステント留置術	寺本佳史 布川知史 中川修宏 眞田寧皓 木本敦史 辻 潔 藪内伴成 岩倉倫裕 出原 誠 山田公人 高垣匡寿 森内秀祐 伊藤 守 加藤天美	第 68 回日本脳神経外科学会総会	2009. 10. 16
12	TMZ 不応性再発悪性グリオーマに対する樹状細胞療法とLAK療法併用による免疫化学療法	森内秀祐 埜中正博 金村米博 明山耀久 寺本佳史 出原 誠 山田公人 高垣匡寿 伊藤 守 種子田護	第 27 回日本脳腫瘍学会	2009. 11. 8
13	海綿静脈洞部硬膜動静脈に対して経静脈的に流入血管塞栓術を施行した 1 例	寺本佳史 高垣匡寿 出原 誠 山田公人 伊藤 守 森内秀祐 加藤天美	第 25 回日本脳神経血管内治療学会	2009. 11. 19
14	Micrus Coil が有効であった左内頸動脈前壁動脈瘤の一治験例	寺本佳史 高垣匡寿 山田公人 出原 誠 森内秀祐 伊藤 守	第 9 回和歌山・泉州脳神経血管内治療研究会	2009. 12. 4
15	内視鏡支援顕微鏡手術が奏功した睡眠時無呼吸症候群にて発見された巨大コロイド嚢胞	森内秀祐 埜中正博 馬場庸平 伊藤 守 種子田護 吉峰俊樹	第 16 回日本神経内視鏡学会	2009. 12. 5
16	座長	森内秀祐	りんくう脳腫瘍談話会	2010. 1. 14
17	開会挨拶	種子田護	りんくう脳腫瘍談話会	2010. 1. 14
18	閉会挨拶	伊藤 守	りんくう脳腫瘍談話会	2010. 1. 14
19	パーキンソン病に対する脳深部刺激術における手術手技 Bone-Wax 法について	出原 誠 伊藤 守 高垣匡寿 森内秀祐 寺本佳史 山田公人 細見晃一 種子田護	第 49 回日本定位・機能神経外科学会	2010. 1. 22
20	座長	寺本佳史	第 40 回南大阪脳神経外科研究会	2010. 2. 13
21	座長	伊藤 守	第 5 回南泉州脳卒中診療研究会	2010. 2. 20
22	脳梗塞で発症した血栓化脳動脈瘤の一例	山田公人 寺本佳史 出原 誠 高垣匡寿 森内秀祐 伊藤 守 種子田護	第 39 回大阪脳卒中臨床研究会	2010. 2. 20
23	当施設における能動脈瘤コイル塞栓術とクリッピング術の使い分け	高垣匡寿 山田公人	第 2 回北大阪脳血管内・外科手術懇話会～二刀流の会～	2010. 3. 12

(3) 学術講演 (2009.4～2010.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	座長	森内秀祐	泉州ブラビックス学術講演会	2009. 10. 3
2	「心・脳血管障害におけるブラビックスの使用経験」	寺本佳史	泉州ブラビックス学術講演会	2009. 10. 3
3	「脳神経外科領域の最近のトピックス」～脳腫瘍・脳卒中を中心に～	森内秀祐	市民健康講座	2009. 10. 17
4	認知症のリハビリテーション	伊藤 守	第 16 回市民公開セミナー	2009. 11. 14
5	司会	伊藤 守	泉州地区脳卒中市民公開講座	2009. 11. 15
6	脳卒中の治療－外科治療を中心に－	寺本佳史	泉州地区脳卒中市民公開講座	2009. 11. 15

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
7	脳神経外科の最新の話題～脳卒中と脳腫瘍について～	森内秀祐	泉佐野・泉南薬剤師会 126 回合同勉強会	2010. 2. 4
8	血液凝固について	伊藤 守	泉佐野市健康講座	2010. 3. 11
9	Fighting Current Stroke	森内秀祐	インターネット情報サイト「MT Pro」	2010. 3. 26

(4) 院内研究活動 (2009.4～2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第 119 回臨床集談会 閉塞性脳血管障害について	寺本佳史	2009. 11. 26

(5) 研究 (2009.4～2010.3)

番号整理	研 究 テ ー マ	研 究 者	研究期間
1	南泉州地域における脳出血の危険因子調査および短期予後調査 大阪難病研究財団	山田公人	2009 年-2010 年